



実施期間

【1 / 23 ~ 3 / 21】

ゆっぽろシート

【雪】キャラクター「ゆっぽろ」

次年度の取組に向けて

「さっぽろっ子オリ・パラウイーク」における取組

ねらい

札幌市のオリンピック・パラリンピック教育推進事業を活用し、本校4年生の総合的な学習の時間「スノーレインボープロジェクト」の学習において、私たちが住む地域のもつ気候と風土をどのようにして活用しているかを体験的に学ぶ。

取組内容

○取組内容

- ・札幌は世界でも有数の積雪の多い大都市であり、雪の恵みを生かした地域の活性化について考えていく。
- ・過去に札幌で冬季オリンピックが行われたことを知り、札幌オリンピックミュージアムにて、ウィンタースポーツについて体験的に学ぶ。
- ・雪を生かした楽しみ方の工夫や雪との共生の仕方について調べたり実践したりしたことをまとめる。

○取組の様子

- ・ミュージアムの館内では、ウィンタースポーツの疑似体験を行い、実際にオリンピックで行われた競技について体験的に学び、オリンピックを身近に感じることができた。また、展示物を通して、札幌オリンピックの歴史を学ぶことができた。札幌オリンピックが、生まれる前の出来事であった子どもたちにとって、当時の様子を知ることは札幌の発展の歴史を知る上でよい学びとなった。
- ・オリンピックの川島有紀子さんとパラリンピアンの方から話を伺った。オリンピック・パラリンピックで活躍した選手の経験や競技にかけける思いや夢をもつことが自分を成長させる力となることなどに子どもたちは高い関心と興味を示していた。
- ・外での活動では、スキージャンプ台の頂上に上がり、雰囲気を感じることができ、大変貴重な体験をすることができた。

成果

- ・総合的な学習の時間「スノーレインボープロジェクト」の学習において、私たちが住む地域のもつ気候と風土をどのようにして活用しているかを体験的に学ぶことが目標であった。
- ・札幌がもつ地形や気候を工夫して生かすことで、過酷な冬がある北国のイメージから、住みよい魅力あふれる街「札幌」へと変えてきた人々の取り組みを、オリンピックという世界的行事を通して知ることができたのは、子どもたちにとって大きな成果と言える。



次年度の取組に向けて

- ・学習後に児童からアンケートをとったところ、「自分が住んでいる札幌によさを感じた」と回答した児童が96.9%いた。自分の住んでいるまちで国際的なイベントがあったということで、地域への愛着や誇りをもつことができた。また、「オリンピックやパラリンピックに興味をもった。」と回答した児童が全体の97.9%もいた。このような経験が、体を動かす楽しさやできる喜びを味わうための「する・みる・支える・知る」と関連する有効な手立てと考える。来年度も継続して、札幌市のオリンピック・パラリンピック教育推進事業に参加したいと考える。